

広報

## あかいいけ

3

さて問題です。  
これは何という山ですか?

# 考えよう! ゴミのこと

「ゴミのポイ捨て」不法投棄は犯罪です。いま私達のモラルが問われています。

「ゴミ」は大切な「資源」。循環型社会の主人公はあなたです。

昨年の「町内一斉清掃」では、  
トラック52台分約2.7ト  
ンのゴミが回収されました。

「ポイ捨て」で一番多いのが  
「空き缶」。軽い気持ちで捨て  
ているのでしょうか? これは  
立派な「不法投棄」なのです。



## もうすぐ始まる家電リサイクル法

4月1日から冷蔵庫・テレビ・洗濯機・エアコンの処分には  
収集・運搬料とリサイクル料金が必要になります。

# 山が吠えている…



→見通しの悪い谷地や茂みなどは不法投棄が多い場所。町境などは町外のゴミも多い。わざわざ車で運んで人目を避けての不法投棄。そこまでするなら、きちんと処理できるはずだと思うのだが…。

二千三百三十九トン。平成十一年度の町内のゴミ発生量です。平成十年十月からゴミの分別収集(六分別)が行われ、ゴミの減量化、リサイクルの推進、ダイオキシン対策を図ってきました。

ゴミ発生量を九年度と十一年度と比較した場合、約二十五%の減量に成功しています。量にして五百五十六トン。しかし、関係者は素直に喜べませんでした。新たな問題点が浮上してきたからです。その問題とは…。そう、「不法投棄」が増加していました。

豈論、浮上してきたからです。その問題とは…。そう、「不法投棄」が増加していました。

「不法投棄」の現状について、町の健康衛生係に聞いてみました。

「ゴミの不法投棄に関する電話は、ほぼ毎日のようにかかってきます。なるべく職員で処理するようになりますが、特に量が多くなり、危険な箇所については業者に委託しています。時間と経費のムダ使いですね。不法投棄がなければ必要のない作業です。不法投棄は一般ゴミがほとんどですが、とりわけ処分に困るのは産業廃棄物です。町境では町外のゴミが多い傾向にあります。私は不法投棄をただ処理するだけではありません。廃棄物から手がかりを捜し出し、ゴミの出所を徹底的に調査します。出所が分かつたら直ちに撤去を命じ、悪質なものは処罰することになります。できればこのようないつたのです。

投棄がある以上、責任と義務は果たさなければなりません。できればこのようないつたのです。



下田川衛生組合事務局長  
浦田 孝一さん

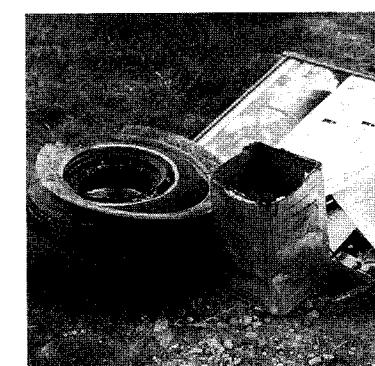
下田川衛生組合では、平成10年の分別収集時から、巡回監視をシルバー人材センターに委託して行っています。監視をはじめてから不法投棄は減りましたが、未だ決まった所にゴミが捨てられているのが現状です。今後、不法投棄を無くしていくためには関係者の努力、啓発と「不法投棄を許さない」という住民の皆さんの意識向上が必要だと考えます。



保育所や学校では環境についての学習や活動を行っている。ルールを守らないのは大人たち。そんな人が、子どもたちに指導しても説得力に欠けてしまうのではないだろうか。

## ◎特集 「考え方よ！ ゴミのこと」

# いま問われるあなたのモラル



↑毎日のように不法投棄の処理に追われる担当職員。ゴミの出所は徹底的に調査し厳重に注意することになる。

無邪気な笑顔の園児たち。しかし、その小さな手で持つてるのは、モラルのない大人達が捨てたゴミ…。毎週続いている清掃活動も、大人達にきちんと処理する道徳観があれば必要なことなのです。

豊かな自然は、わたしたち住民にとってかけがいのない財産。未来を担う子どもたちのために、残しておかなければならぬ大切な宝物です。そんな美しい自然を平気で汚す、良心や責任のかけらも無い人が後を絶ちません…。

四月から「家電リサイクル法」が施行されます。冷蔵庫・

テレビ・エアコン・洗濯機の四品目が対象で、消費者がリサイクル料と収集運搬料を支払うことになります。

そこで、懸念されるのが『不法投棄』の増加。「今後、間違いなく増え、社会問題化する」といわれている『不法投棄』と『環境問題』について考えてみましょう。



↑毎日のように不法投棄の処理に追われる担当職員。ゴミの出所は徹底的に調査し厳重に注意することになる。

していただきたいといけません。毎週月曜日は、不法投棄パトロール車でゴミの見回りをしている担当職員。ほかの仕事に費やせる貴重な時間を割いています…。

問われるのは、私達のモラル。ゴミは人間が生活していく中で、必ず発生するものです。出たゴミの後始末は当然、人間としての「義務」なのではないでしょうか。



◀ 清掃活動中に、アイガモの親子が寄ってきた。私達は川に生息する動植物たちのためにも河川環境を保護していくなければならない。



▶ 捨てられた畳の山。付近にもゴミを燃やした後がある。人間としてのモラルが問われる光景だ。



▶ 河川敷のゴミを軽トラックに積む「ひこさんがわ夢の会」の皆さん。毎月第二土曜日に清掃活動を行っている。

► 赤池町の母なる川「彦山川」。町の歴史や文化はこの川に育まれてきた。しかし、この川にもゴミが捨てられている。責任や義務感のない人が美しい景観を汚すのには絶えられない。私達住民が「不法投棄を許さない」という強い気持ちを持てば、ゴミが捨てられない雰囲気や環境をつくることができるのではないだろうか。

そのような活動がなければ、町はずれゴミに埋もれてしまうのかもしません。

いま、地区公民館連合会では「不法投棄を撲滅しよう」という動きがあります。

町全体が「不法投棄を許さない」という姿勢でいれば、必ず不法投棄はなくなっていくのです。

「不法投棄は懲役一年以下、三百万円以下の罰金」と、法律にあります。簡単に考えて、「ゴミのポイ捨て」でしょ？ が、これは立派な犯罪です。捨てる人がいる限りゴミはなくなりませんが、反対に、捨てる人が一人でも多くきれいにする立場になれば、

確実にゴミは減っていきます。

増加する一方のゴミ。二十一世紀は、家庭・地域・町・そしてこの日本という国それぞれが、ゴミについて本気で考えなければならぬ危機的な状況になってきました。

## 求められる循環型社会

二十世紀。それは、たくさんの便利なものが生まれた時代でした。たくさんの人々に囲まれ、豊かな生活をしてきた私達。大量生産と大量消費の時代でもありました。その「使い捨ての時代」の代償が「大量のゴミ問題」なのです。

まず「ゴミを出さない社会」。ものを大切に長く使う社会です。生産者側も長く使える商品の開発を進めています。

次に「資源を大切にする社会」。出たゴミは再利用。再利用できなければリサイクル。最後まで循環資源を有効に使い、ゴミを減らしていく社会です。

そして「ゴミをきちんと処理する社会」。どうしてもリサイクルできないゴミも出できます。これは、きちんと処分していくことが大切です。以上、三つのように「循環型社会」とは、ゴミを循環資源として利用していく社会なのです。

赤池町の豊かな自然を未来に引き継ぐために。何より私達の暮らしのために。新しい豊かさをつくります。主人公はあなた。身近で出来ることからはじめていきましょう。



# 川が叫んでいる…

► 彦山川ではアイガモが生息している。日頃から河川敷の清掃活動を行ってくださる「ひこさんがわ夢の会」や地域ボランティアのみなさんのおかげで、気持ちよく川を泳ぐことができる。



## 現

在、町内では、行政や地区公民館連合会主催の町内一斉清掃が年二回行われています。「毎年毎年ゴミは増えていくばかり。きれいにする人はいつも同じ。捨てる人も同じじゃないの？」そんな住民の方の声を耳にしました。まさにそのとおりだと思います。捨てる人は処理する人の事など考えていません。また、処理する人はゴミを捨てる様な事はしないでしょう。

地域や団体でも多くのボランティアのみなさんが清掃活動を行っています。駅や道路、河川敷や公園がキレイなものみなさんのおかげ。

# 4月から「家電リサイクル法」がスタートします。

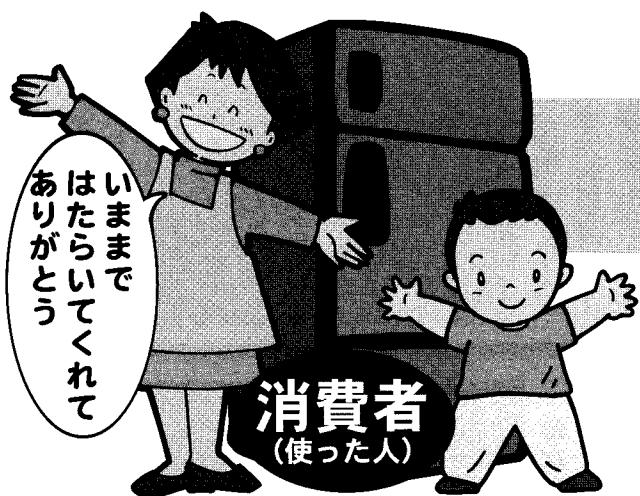
使わなくなった家電製品（エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機）  
リサイクル料と収集運搬料が必要になります。

## Q 家電リサイクル法ってナニ？

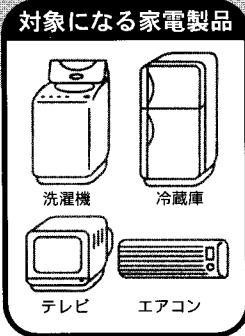
一般家庭から出される家電製品は、約8割が小売業者によって、約2割は直接市町村によって回収されています。その後は直接埋め立てられるか、破碎処理され、一部金属の回収が行われるもの、そのほとんどがゴミとして捨てられているのが現状です。

日本での一般廃棄物のリサイクル率は10%と、とても低い数字。今のペースのまま、廃棄物の埋め立て処理を行った場合、全国の処理場は、あと8、5年しかもたないといわれています。

21世紀の環境を守るために、廃棄される家電製品の適正な処置と、そこから生まれる資源の有効利用を図らなければなりません。4月1日からスタートする「家電リサイクル法」（特定家庭用機器再商品化法）は、生活環境の保全と経済の発展を目的に、リサイクル体制の整備を進めていく制度なのです。



使わなくなった  
家電製品は、  
リサイクル料  
収集運搬料と  
一緒にお店の人に  
渡してね



## Q 消費者がリサイクル料と収集運搬料を負担

家電リサイクル法では、消費者・小売業者・製造業者が役割分担しそれぞれの立場からリサイクルに協力することになります。

消費者は、対象家電製品を小売業者に引き渡す際に、収集運搬料と製造業者のリサイクル料を負担します。料金は製品ごとに右の表のとおり設定されています。収集運搬料などは小売店の店頭や電話で照会でき、あらかじめ知ることができます。なお、この他の確定していないサービスについては、決まり次第随時お知らせします。

問い合わせ先 役場健康衛生係 TEL 28-2004 (内線145)

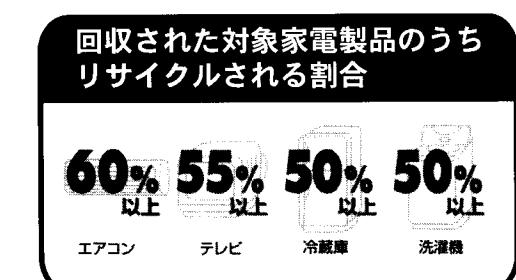
家電4品目	リサイクル料金
洗濯機	2400円
テレビ	2700円
エアコン	3500円
冷蔵庫	4600円

+収集・運搬料



リサイクルが  
困難な部分は  
適切な方法で廃棄

みなさんからあづかった  
家電製品を家電メーカーは  
ムダにならないようきっちんと  
再商品化（再資源化）します



資源として  
リサイクル

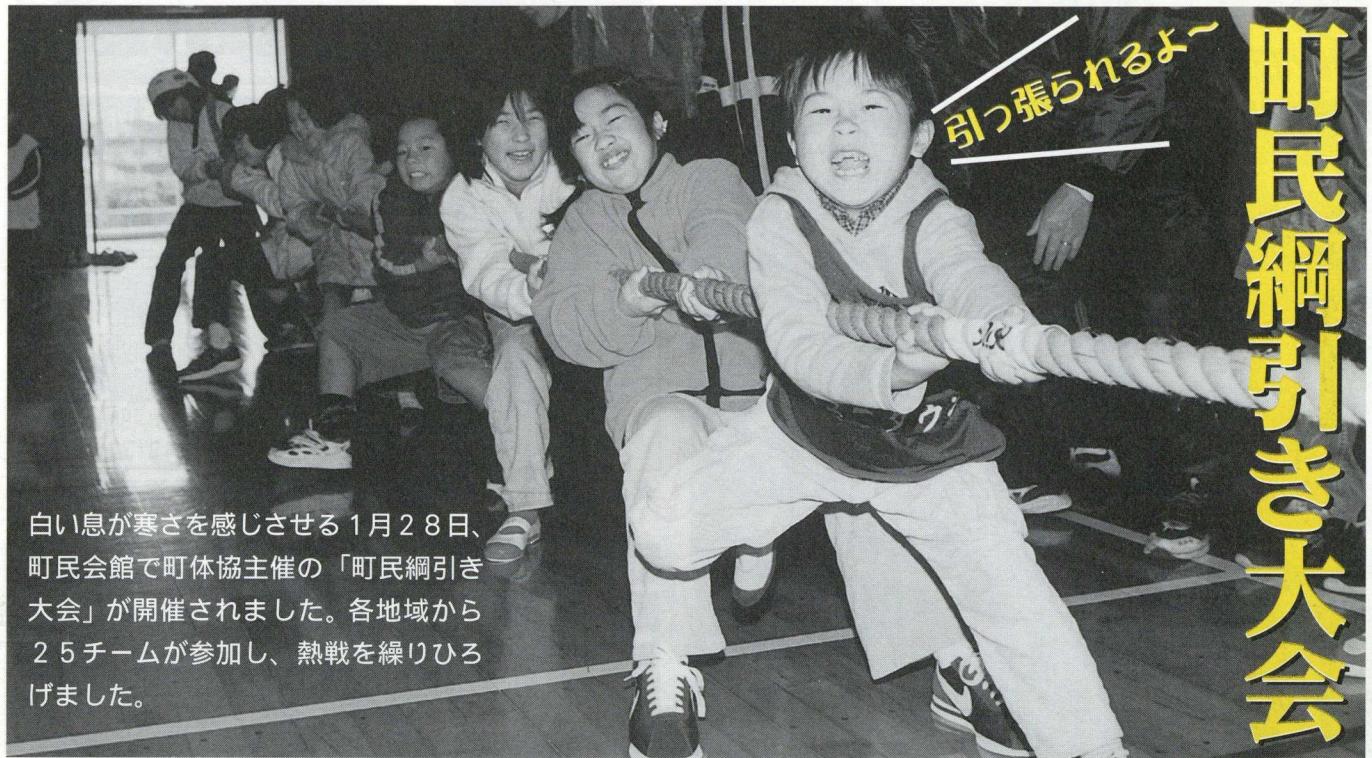
鉄 銅  
アル フラス











白い息が寒さを感じさせる1月28日、町民会館で町体協主催の「町民綱引き大会」が開催されました。各地域から25チームが参加し、熱戦を繰りひろげました。

子どもの部 1位18支所 2位3区B



女性の部 1位3区 2位7区



男性の部 1位7区B 2位18支所



次回も多数のご参加をお待ちしています。

かつて国内最大の出炭量を誇った筑豊。その主要な水路として利用された遠賀川は、筑豊炭田の、さらには日本近代化の命脈であったといつても過言ではあります。炭都と鉄都を結んでいたその川を、いま再び船でたどって行くという壮大な計画が、東京芸術大学教授川俣正氏を中心に、北九州市美術館の主催で進められています▼「五平太船」や「川ひらた」と呼ばれる石炭運搬船をイメージした船が、田川から若松までの三十三kmの距離を三月二十六日から六日間をかけ、彦山川・遠賀川を下っていきます▼初日停泊する赤池町では、水永町長を実行委員長に「彦山川・川下りプロジェクト田川市・赤池町実行委員会」を組織し、上野焼の野焼きをはじめとするイベントを計画しています▼昔、数多くの文化を育んできた彦山川。記憶の中で風化しつつある炭坑の歴史に想いを馳せ、この機会に、そつと触れてみてはいかがでしょうか。

## 旋律

MELODY  
かつて国内最大の出炭量を誇った筑豊。その主要な水路として利用された遠賀川は、筑豊炭田の、さらには日本近代化の命脈であったといつても過言ではあります。炭都と鉄都を結んでいたその川を、いま再び船でたどって行くという壮大な計画が、東京芸術大学教授川俣正氏を中心に、北九州市美術館の主催で進められています▼「五平太船」や「川ひらた」と呼ばれる石炭運搬船をイメージした船が、田川から若松までの三十三kmの距離を三月二十六日から六日間をかけ、彦山川・遠賀川を下っていきます▼初日停泊する赤池町では、水永町長を実行委員長に「彦山川・川下りプロジェクト田川市・赤池町実行委員会」を組織し、上野焼の野焼きをはじめとするイベントを計画しています▼昔、数多くの文化を育んできた彦山川。記憶の中で風化しつつある炭坑の歴史に想いを馳せ、この機会に、そつと触れてみてはいかがでしょうか。